

# 第97期 業務のご報告

2022年4月1日～2023年3月31日

AdachiSeiwa Shinkin Bank Business Report

# ごあいさつ



理事長 **土屋 武司**

若葉・青葉が色鮮やかな清々しい向暑の時期となりました。会員の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、当金庫第97期通常総代会を開催し、2022年度の事業および決算のご報告と剰余金処分案等の審議を賜り、満場一致でご承認をいただきました。

ここに、第97期（2022年4月1日から2023年3月31日）の事業報告と決算の状況につきまして謹んでご報告申し上げます。

さて、2022年度を振り返ってみますと、政府主導の感染症と経済活動の両立により、個人消費のみならず、訪日外国人増加によるインバウンド消費にも回復が見られ、我が国の経済もようやく明るい兆しが見えてまいりました。

一方で、急激な経済回復の動きやロシアのウクライナ侵攻、欧米の利上げ等により物不足や資源高、そして円安による輸入物価の上昇を主因としたインフレが続いており、食料品やエネルギー価格の相次ぐ値上げなどが我々の家計を圧迫しました。

また、中小企業からは「十分な価格転嫁ができないため、業況改善が見えてこない」「経済回復に伴い人手不足が顕著であり、優秀な人材の確保もままならない」といった声が数多く聞かれ、企業の経営環境は依然厳しい状況が続いていることが伺えます。

2022年度も幾度となくコロナ感染症の流行がありましたが、当金庫では「地域応援！“おせっかい宣言”」というキャッチフレーズのもと、「地域(お客さま)の声をしっかりと聴くこと、そしてその声に基づいて、より質の高いサービスを提供できる人財を育て、地域(お客さま)のために積極的に考動(自ら考え、行動)すること」を主たるテーマに一年間取り組んでまいりました。

中小企業の皆さまにおける資金繰り等の相談環境を整備するとともに、区内3か所のローンプラザを総合相談拠点として地域応援相談プラザに変更することで、店頭窓口の営業時間外における相談機能充実を図り、お客さまの利便性を向上いたしました。また、一年を通して商談可能なマッチングサイト「Σbiz(シグマビズ)」をシグマバンクグループ(当金庫・亀有信用金庫・小松川信用金庫・東栄信用金庫)およびコザ信用金庫共同で開設。さらに、専門家による「創業サポート」や「インボイス」、「価格交渉」に関するセミナー、「人材確保」や「補助金」等の相談会を開催し、企業経営者の声として大きかった課題の改善にも注力いたしました。

地域貢献分野では、地元企業の名産品等を販売する「地域応援マルシェ」の開催、「お菓子のまちあだち」や「宿場町・千住」のPR事業、空き家対策である「千住まちづくりファンド」の1号案件完成等、地域経済の担い手として前年以上の役割を果たすべく邁進してまいりました。

長引くマイナス金利政策の影響を受け、我々を取り巻く経営環境は2022年度も厳しい状況にありましたが、会員の方々を始めとした地域の皆さまのご協力により、2023年3月末の預金残高は前期末より42億円増加し、5,778億円となりました。貸出金残高につきましては、事業性運転資金が伸長し、先数も増加となったものの、コロナ関連融資の返済が進んだこと、事業性設備関連の計画見直しや遅れが大きく影響したこと等により、前期比▲9億円の2,992億円となりました。収益面では、経常利益14億54百万円、業務純益12億36百万円、本業での利益を示すコア業務純益も13億9百万円(前期比1億66百万円増加)、当期純利益9億96百万円と増益になり、健全性を示す自己資本比率も国内基準を大きく上回る10.18%(前期比0.76%増加)を計上することができました。

2023年度は、コロナと経済活動の両立による景気回復に一層の期待が高まりますが、中小企業においては依然として多くの課題が存在しており、我々に求められる役割や期待もより重要性を増していくことが想定されます。そこで、2023年度の主たる活動テーマを「接点を増やそう」とし、お客さまとの接点を増やすことで地域(お客さま)の数多くの声を聴き、地域の利益に繋がる活動を積極的に行ってまいります。また、職員間の接点を増やすことによりワーク・エンゲージメントにも注力し、ES向上を図ることで「地域と共に成長し、地域の未来づくりに貢献する金融機関」を役職員一同で目指してまいります。

会員の皆さまにおかれましては、今後とも倍旧のお引き立て、ならびにご愛顧を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

令和5年6月

# 当金庫の概況

## ■ 概況 (2023年3月末現在)

創 立 大正15年11月11日  
 本店所在地 〒120-0034  
 東京都足立区千住1丁目4番16号  
 純 資 産 202億36百万円  
 店 舗 数 23店舗・プラザ3か所  
 会 員 数 30,452先  
 役 職 員 数 433人

## ■ 事業成績の推移

区 分	2020年度	2021年度	2022年度
預 金 積 金	558,296 <sup>百万円</sup>	573,620 <sup>百万円</sup>	577,851 <sup>百万円</sup>
貸 出 金	292,697	300,213	299,234
有 価 証 券	162,958	169,501	167,104
総 資 産	594,576	606,659	603,910
経 常 利 益	1,516,897 <sup>千円</sup>	937,748 <sup>千円</sup>	1,454,992 <sup>千円</sup>
当 期 純 利 益	869,666	954,101	996,579
自己資本比率	9.16%	9.42%	10.18%

自己資本比率は、リスクのある資産(リスクアセット)に対して自己資本がどれくらいあるのかを示す指標であり、健全な金融機関の単体自己資本比率は4%以上(国内基準)と定められています。

# 総代会の概要

## 1. 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。従って、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、全員出席による総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の意見を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任などの重要事項を決議する最高意思決定機関です。従って、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

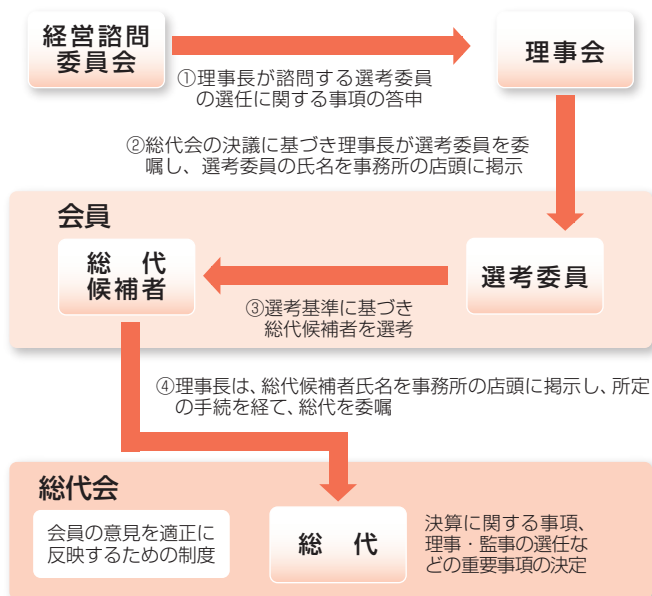
## 2. 総代とその選任方法

### (1) 総代の任期・定数

- ・総代の任期は2年で、定年は80歳です。
- ・総代の定数は90人以上120人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定めます。

### 総代会の仕組み

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



なお、2023年3月31日現在の総代数は100人で、会員数は30,452先です。

### (2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の意見を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。

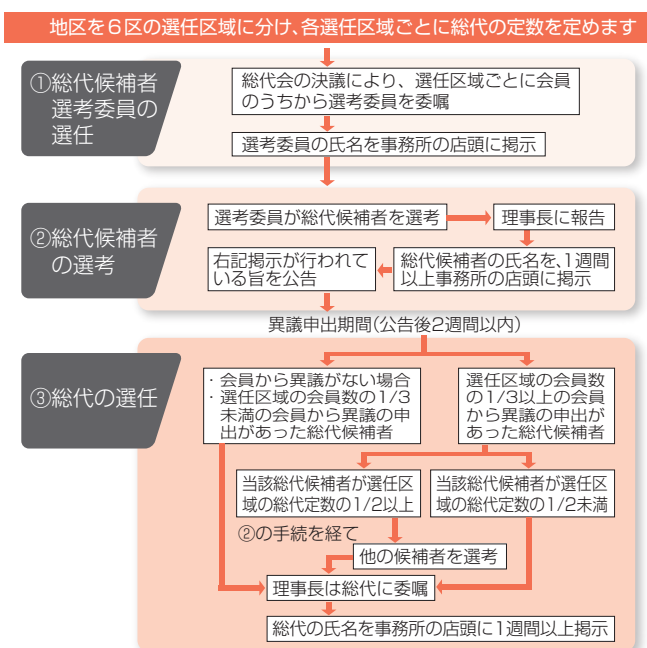
- ① 総代会の決議により、会員のうちから総代候補者選考委員を選任する。
- ② 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ 上記②により選考された総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

(参考)

総代候補者の選考基準

- ① 総代候補者は、当金庫の会員でなければならない。
- ② 総代候補者の選考基準は次のとおりとする。
  - ・ 総代としてふさわしい見識を有している方
  - ・ 良識をもって正しい判断ができる方
  - ・ 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方
  - ・ その他総代候補者選考委員が適格と認めた方

### 総代が選任されるまでの手続



# 貸借対照表 (2023年3月末現在)

科目		金額	科目		金額		
(資産の部)		(百万円)	(負債の部)		(百万円)		
現金	金	8,336	預金	積金	577,851		
預け	金	116,139	当座	預金	11,923		
買入金	債権	896	普通	預金	324,270		
有価証券		167,104	貯蓄	預金	2,563		
国債		6,547	通知	預金	197		
地方債		26,829	定期	預金	222,771		
社債		75,394	定期	積金	12,504		
株式		71	その他の預金		3,621		
その他の証券		58,261	借用金		4,025		
貸出金		299,234	借入金		4,025		
割引手形	形付	2,323	その他負債		1,104		
手形貸付		3,665	未決済為替	借	294		
証書貸付		291,503	未払費用		99		
当座貸越		1,742	給付補填	備金	5		
外国為替		40	未払法人税	等	229		
外国他店	預け	40	前受	収益	24		
その他の資産		3,104	払戻未済	金	31		
未決済為替	貸	206	職員預り	金	81		
信金中金	出資	2,180	リース	債	44		
前払費用		6	資産除去	債務	21		
未収収益		605	その他の負債		271		
その他の資産		104	退職給付引当金		306		
有形固定資産		9,404	役員退職慰労引当金		135		
建物		3,866	睡眠預金払戻損失引当金		8		
土地		4,951	偶発損失引当金		88		
リース資産		40	債務保証		153		
その他の有形固定資産		545	負債の部合計		583,674		
無形固定資産		100	(純資産の部)				
ソフトウェア		76	出資	金	2,199		
リース資産		3	普通	出資	金	2,199	
その他の無形固定資産		20	利益	剰余	金	24,003	
繰延税金資産		110	利益	準備	金	2,212	
債務保証見返		153	その他	利益	剰余	金	21,791
貸倒引当金		△715	特別	積立	金	20,300	
(うち個別貸倒引当金)		(△550)	(地域協調基金積立金)		(100)		
			当期末処分	剰余	金	1,491	
			処分未済	持分		△22	
			会員	勘定	合計	26,181	
			その他有価証券	評価差額	金	△5,944	
			評価・換算	差額	等	合計	△5,944
			純資産の部	合計		20,236	
資産の部合計		603,910	負債及び純資産の部合計		603,910		

## 損益計算書 (2022年4月1日～2023年3月31日)

科目	金額	科目	金額
	(千円)		(千円)
経常収益	7,395,464	経費	5,200,298
資金運用収益	6,164,867	人件費	3,414,235
貸出金利息	4,223,408	物件費	1,592,793
預け金利息	237,873	税金	193,268
有価証券利息配当金	1,647,359	その他経常費用	93,630
その他の受入利息	56,225	貸出金償却	34,654
役務取引等収益	743,069	その他資産償却	5,322
受入為替手数料	341,913	その他の経常費用	53,653
その他の役務収益	401,156	経常利益	1,454,992
その他業務収益	146,839	特別利益	144,129
外国為替売買益	11,028	固定資産処分益	144,129
国債等債券売却益	96,434	特別損失	62,955
国債等債券償還益	500	固定資産処分損	55,877
その他の業務収益	38,876	減損損失	7,078
その他経常収益	340,688	税引前当期純利益	1,536,166
貸倒引当金戻入益	111,428	法人税、住民税及び事業税	344,544
償却債権取立益	66,534	過年度法人税等	115,042
株式等売却益	151,228	法人税等調整額	80,000
その他の経常収益	11,496	法人税等合計	539,586
経常費用	5,940,471	当期純利益	996,579
資金調達費用	82,211	繰越金(当期首残高)	494,973
預金利息	65,042	当期末処分剰余金	1,491,552
給付補填備金繰入額	2,434		
借入金利息	13,314		
その他の支払利息	1,420		
役務取引等費用	390,031		
支払為替手数料	92,001		
その他の役務費用	298,029		
その他業務費用	174,299		
国債等債券売却損	89		
国債等債券償却	170,050		
その他の業務費用	4,160		

## 剰余金処分 (2022年4月1日～2023年3月31日)

科目	金額
当期末処分剰余金	1,491,552,765 (円)
剰余金処分額	1,043,749,170
普通出資に対する配当金 (年2.0%)	43,749,170
特別積立金 (任意特別積立金)	1,000,000,000
繰越金(当期末残高)	447,803,595

上記のとおり報告します。

2023年6月23日

### 足立成和信用金庫

会長 高杉浩明  
 理事長 土屋武司  
 常務理事 木村泰治  
 常務理事 白幡剛  
 常勤理事 鈴木透  
 常勤理事 岡部克己  
 常勤理事 岡田静雄  
 常勤理事 山口和男  
 理事 村田和子  
 理事 伊藤茂  
 理事 稲村弘

以上の各項目監査の結果、適法かつ正確なることを認めます。

常勤監事 加藤定雄  
 常勤監事 行木寿夫  
 員外監事 寺口正治



# あだちせいわのSDGs

## ① 持続可能な地域づくりへの貢献

### ● 価格交渉サポートセミナー開催

地域企業の「原材料費等の上昇分を価格に転嫁できない」という声を受け、価格交渉に精通した講師をお招きして、セミナーおよび個別相談会を計3回開催いたしました。



### ● インボイスセミナー開催

2023年10月よりインボイス制度が始まるため、事業者および当金庫職員向けにインボイスセミナーを複数回開催いたしました。

区内税務署の方をお招きして、インボイス(適格請求書等保存方法)の基礎知識や制度概要、導入にあたってのポイントなどを解説していただきました。



## ② 地域環境への配慮

- 通年ノーネクタイ・ノーリボンの実施
- 全店統一 店周清掃ボランティア活動実施
- フードドライブ活動実施(フードロス削減)
- しんきん通帳アプリの推進(紙資源削減)



通年ノーネクタイ・ノーリボン  
店頭掲示ポスター



店周清掃の様子



フードドライブで回収した  
未利用食品の寄付の様子

## ③ 地域経済の活性化

### ● 地域応援マルシェの実施

当金庫では、地域応援マルシェ等の開催を通じて、地域事業者の出店・販売による商品PR支援、あだちのお菓子販売による「お菓子のまち あだち」の活性化、「あだち子どもの未来応援基金」等への売上金の一部寄付による子どもの明るい未来の実現を応援しております。



### ● 「お菓子のまち あだち」応援活動

足立区には東京都菓子工業組合に所属する都内菓子製造業者が約3割も集積しています。「お菓子のまち あだち」を多くの方に知ってもらうため、足立区内の菓子製造業者や足立区内の諸団体と協力し、足立区在住の小学5・6年生を対象に「あだちのお菓子」アイデアを募集する「あだち夢のお菓子コンテスト」を実施し、484作品のうち26作品が入選されました。そのうち11作品が「あだち菓子博inアリオ西新井」にて商品化・販売され、お子さまの夢の実現と菓子事業者の活性化を支援いたしました。



当金庫における過去の地域貢献活動は、ディスクロージャー誌にて詳細に掲載しております。右記の二次元コードよりホームページにアクセスして、お気軽にご覧ください。



# あだちせいわの地域防災活動

当金庫は、2016年に足立区と締結した「災害時における応急対策活動に対する支援に関する協定」において、大規模災害発生時に足立区民への生活関連物資の提供、復旧対策等に必要な物資および機材等の優先提供、被災した近隣住民および帰宅困難者等の受入に協力することを定めております。

この協定に基づき、2023年2月20日に地元住民・足立区・千住警察署・千住消防署と連携して、大地震発生を想定した「近隣住民および帰宅困難者受入訓練」を実施いたしました。



帰宅困難者受入後の様子



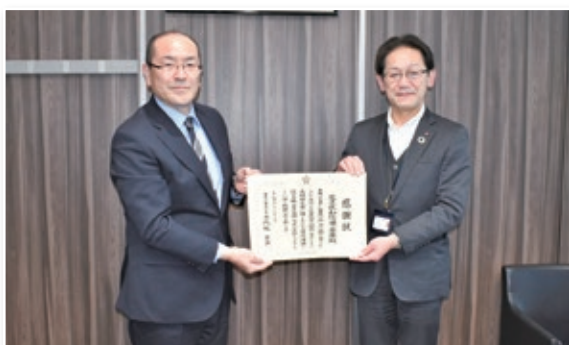
危機対策委員会での会議風景



仮設トイレ設置の様子

## ● 警視庁より防災意識普及高揚の貢献に関する感謝状を受領いたしました

2022年12月、大災害に備えるための官民連携と防犯意識の普及高揚に貢献したとして、警視庁災害対策課より感謝状を受領いたしました。



## ● 地域応援情報誌「ASyell!(あすエール!) vol.5」にて防災特集を掲載いたしました

当金庫の各店に設置しているAEDやスタンドパイプ、防災食や防災グッズなどを、実際に使用して紹介いたしました。

備蓄食料を定期的に調理して買い足したり、新聞紙でスリッパを作ったり、日常生活で楽しみながら防災意識を高めることをPRいたしました。



当金庫ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



## 「次の100年への備え」について考えてみませんか？

### 2023年度から3年間限定で、足立区の耐震助成金が大幅UPしています！

関東大震災から100年を迎える今、大幅に助成金額や助成率が拡充されました。

下記の3項目が対象となっています。助成金額や対象・要件等、詳細については足立区ホームページよりご確認ください。

木造住宅の耐震改修・解体助成



ブロック塀等カット工事助成



家具転倒防止・窓ガラス等飛散防止工事助成



当金庫は「地域の防災力の向上」を応援しております！



# 地域応援相談プラザのご紹介

足立区に3か所、平日夜19時までと土曜日・日曜日も営業の駅近で便利な総合相談窓口です。  
WEBで簡単に来店予約ができますので、お気軽にご利用ください。

## 各種ご相談・手続き承ります！

- 国債
- 各種保険
- 投資信託
- 個人向けローン
- 事業性融資
- リース(当金庫関連会社対応)
- M&A
- 事業承継
- 創業
- ご相続
- 印鑑紛失・変更
- 名義・住所変更

**NEW!** 教育関連・災害対策関連のご相談受付業務をスタートしました！

## 各種相談会を不定期開催しています！

お気軽に  
ご利用下さい！



補助金・助成金や資産形成(投資信託)、年金の相談会を不定期で開催しております。  
開催決定の都度、LINE公式アカウント等にてお知らせいたします。  
ご興味のある方は本ページ下部の二次元コードより、ぜひ友だち登録してください。

## 土日も営業しています！

2023年8月2日より  
毎週水曜日定休

営業時間

月～金

11時～19時

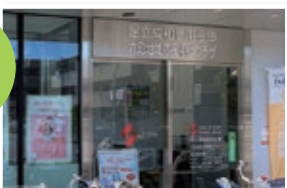
土・日

10時～16時

※祝日・GW・年末年始を除く毎日営業。ただしGW・年末年始はそれと連続する土曜日・日曜日も休業とさせていただきます。

### 六町 地域応援相談プラザ

六町駅  
A3出口  
徒歩2分



足立区南花畑1-1-30(南花畑支店に併設)

### 北千住 地域応援相談プラザ

北千住駅  
西口  
徒歩2分



足立区千住2-57 熊倉ビル2階

### 西新井 地域応援相談プラザ

西新井駅  
西口  
徒歩1分



足立区西新井栄町2-3-15 WATANABEビル1階

## WEBでかんたん来店予約♪

予約システムで来店時間をご指定できます！  
ご予約されたお客さまから優先的にご案内いたします。

WEB予約は  
こちらから ▶



地域応援相談プラザ含む  
店舗・ATMの営業時間等は  
こちらから ▶



LINE公式アカウントでは、  
当金庫に関するお知らせや、  
地域の情報等を配信中！  
友だち登録はこちら ▶

